

# 良いところを生かし 奇跡の大逆転を実現



学校法人池上学園  
池上学院高等学校  
池上学院グローバルアカデミー専門学校 校長

イケガミキエコ  
**池上喜重子氏**

profile

昭和15年、新潟県三条市生まれ。日本女子経済短期大学(現嘉悦大学)卒業後、株式会社国分商店(現 国分株式会社)入社。昭和38年、池上公介氏と結婚し、池上商店の家業に従事。公介氏の教育界転進後も、学びの環境づくりを支え、現在は高校および専門学校の校長として「池上式」と呼ばれる独自の教育を実践する。札幌商工会議所女性会会長、日本国際連合協会北海道本部役員理事など団体役職も多く務める。

転機は昭和五十年、札幌で一校だけあつた中学浪人向け予備校が計画倒産し、子どもたちが放り出されたときだつた。「夕飯の時に夫婦でそのニュースをテレビで見ていたのですが、主人が突然『これは自分が助ける』と言いました。資金的なことや家業のことを考えると私にはどうしても無理に思え、親戚や知人も皆反対でしたが、主人だけは『どうしても助けなければいけない』と譲りません。困り果てて実家の親に相談したところ『あらあなた

その後、公介氏は得意の語学力を生かし、私塾「池上イングリッシュクラブ」を開設。食料問屋と英語塾の経営に努めた。

## 誰もが持っている潜在能力を確かに引き出し育てる「池上式」

校訓  
感謝  
克己  
利他

主人の言うことを聞けない人々。

困っている子どもたちを助けるのは素晴らしいことじゃない」と言わされ、得心したのです。そうして中学浪人生たための予備校「池上学院」が誕生しました。たまたま自宅の隣で売りに出していた土地・建物を購入し、一階に小さな教室と事務所をつくり、二階は寮にして地方の生徒を預かりました。食事は

自宅で私たち家族と生徒が一緒に撮り、文字通り二十四時間体制で取り組みました。その甲斐あって約二十名の生徒は全員志望校に合格を果たし、マスクにも「私財を投げ打って子どもたちを救済した」と報じられました」と池上校長は当時を振り返る。

その後、高校に合格した生徒から「大学受験の指導も行ってほしい」と請われ、大学受験科を開設。不登校が社会問題化した平成十年には現在の池上学院高等学校の前身となる全日制通信制高校サポート校「札幌高等学校」を開校。翌十一年には全国初の不登校生のための全日制小・中等部「池上オープンスクール」や中途退学者のための「高卒認定コース」を開設した。

「池上学院は複数の学校を擁する総合学園となりましたが、それは多くの生徒や保護者の方々の願いに応えよう行動を続けてきました結果だと感じています。どんな人にもその人だけの潜在的な能力が秘められています。その能力を引き出し、生きる力に育てる教育。それが「池上式」の基本です」。

## 道内に広がる高校キャンパス専門学校の独自課程も話題に

平成十六年、学校法人池上学園が設立され、札幌では唯一の私立単位制通信制高校「池上学院高等学校」が開校した。増加している不登校、高校中退者を積極的に受け入れているのが特徴で、自宅学習とスクーリングが中心の「一般コース」は、さまざまな理由で毎日通学できない生徒たちが道内各地から入学している。「年間で約二十日のスクーリングがあるため、生徒の時間的負担や保護者の経済的負担を軽減できるよう、道内の主要都市に地域キャンパスを順次広げてきました。開校十周年を迎えた昨年は、七校目となる苫小牧キャンパスを開設しました」と池上校長。

また平成二十一年には、池上学院グローバルアカデミー専門学校を開設。厚別にあつた札幌テクノパーク専門学校を事業承継したもので、デジタル、ゲーム、デザイン、情報システム、音楽療法など、時代のニーズに応える専門知識や技術を習得する人材を養成している。中でも道内専門学校で唯一「音楽療法士」を目指せる音楽療法学科は、社会の高齢化が進む中で注目を集めている。



道内唯一の  
「音楽療法学科」  
授業風景



札幌唯一の  
私立単位制通信制高校  
「池上学院高等学校」  
授業風景

「池上式」の基本です」。

道内に広がる高校キャンパス専門学校の独自課程も話題に

